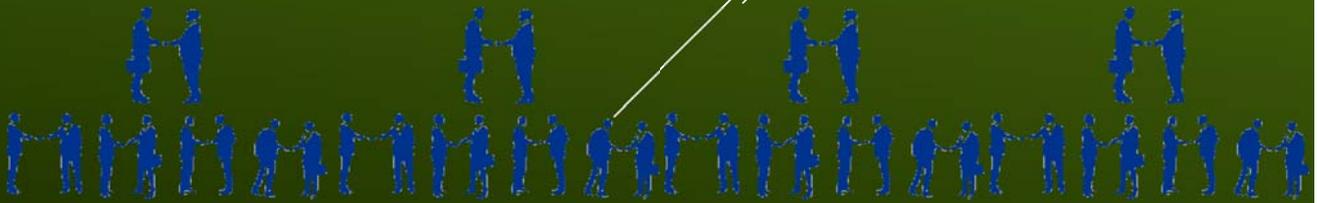


交渉コンペティションの審査

2015年03月28日 (土曜日)

東京大学大学院・法学政治学研究科

太田勝造 (OTA Shozo)



(1) よくある疑問：課題事例は、ブルー社側とレッド社側で有利不利が生じているか？

ブルー・レッド		順位	仲裁点	交渉点	総合点
B	平均値	10	146.86	145.82	296.57
	度数	9	9	9	9
	標準偏差	5.24	5.85	8.83	14.28
R	平均値	8.89	149.79	146.89	301.69
	度数	9	9	9	9
	標準偏差	5.71	8.73	6.35	13.98

			平方和	df	平均平方	F値	有意確率
順位とブ ルー・レ ッド	グループ間	(結合)	5.556	1	5.556	.185	.673
	グループ内		480.889	16	30.056		
	合計		486.444	17			
仲裁点とブ ルー・レ ッド	グループ間	(結合)	38.647	1	38.647	.699	.415
	グループ内		884.035	16	55.252		
	合計		922.681	17			
交渉点とブ ルー・レ ッド	グループ間	(結合)	5.191	1	5.191	.088	.771
	グループ内		946.344	16	59.147		
	合計		951.535	17			
総合点とブ ルー・レ ッド	グループ間	(結合)	117.769	1	117.769	.590	.454
	グループ内		3195.316	16	199.707		
	合計		3313.085	17			

(1) よくある疑問：課題事例は、ブルー社側とレッド社側で有利不利が生じているか？

ブルー・レッド		順位	仲裁点	交渉点	総合点
B	平均値	10	146.86	145.82	296.57
	度数	9	9	9	9
	標準偏差	5.24	5.85	8.83	14.28
R	平均値	8.89	149.79	146.89	301.69
	度数	9	9	9	9
	標準偏差	5.71	8.73	6.35	13.98

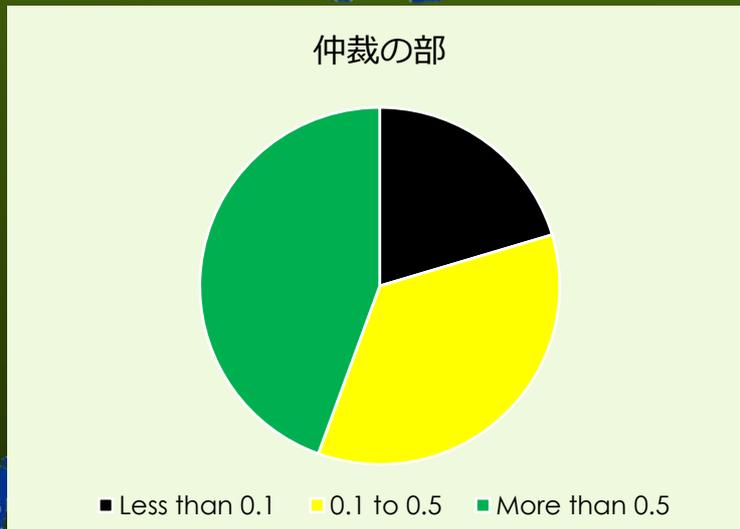
仲裁及び交渉の採点において、
レッド社とブルー社とで
チームの得点合計に
統計的に有意な差異は
見られない

順位とブルー・レッド	グループ間 (結合)	グループ内	合計	平方和	df	平均平方	F値	有意確率
仲裁点とブルー・レッド	38.647	884.035	922.681	1	16	38.647	.699	.415
交渉点とブルー・レッド	5.191	946.344	951.535	1	16	5.191	.088	.771
総合点とブルー・レッド	117.769	3195.316	3313.085	1	16	117.769	.590	.454

(2) よくある疑問：審査員の採点は、どこまで客観的か、主観的か？ 審査員3名の審査はどこまで信頼性があるか？

① 仲裁の場合

仲裁廷の審判3人の採点の一致の程度		
クロンバックのα	審査パネル数 54	評価
0.1未満	11	対立
0.1-0.5	19	弱い一致の程度
0.5以上	24	強い一致の程度

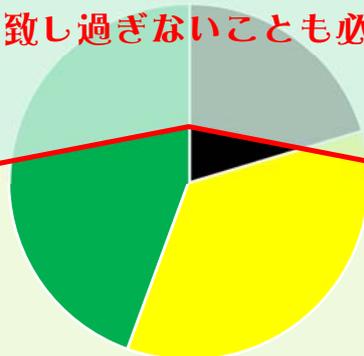


(2) よくある疑問：審査員の採点は、どこまで客観的か、主観的か？ 審査員3名の審査はどこまで信頼性があるか？

① 仲裁の場合

仲裁廷の審判3人の採点の一致の程度		
クロンバックの α	審査パネル数 54	評価
0.1未満	11	対立
0.1-0.5	19	弱い一致の程度
0.5以上	24	強い一致の程度

① 仲裁の採点において、仲裁廷の3審判の評価の間にブレはあまり見られない。
 ② 各自（弁護士，裁判官，企業人）はそれぞれポリシーをもって採点しているので一致し過ぎないことも必要。



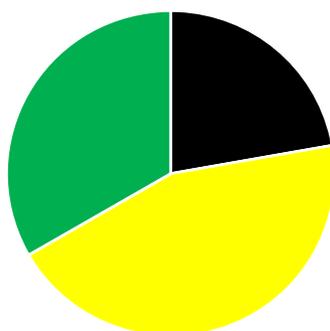
■ Less than 0.1 ■ 0.1 to 0.5 ■ More than 0.5

(2) よくある疑問：審査員の採点は、どこまで客観的か、主観的か？ 審査員3名の審査はどこまで信頼性があるか？

② 交渉の場合

交渉審判3名の採点の一致の程度		
クロンバックの α	審査パネル数 54	評価
0.1未満	12	対立
0.1-0.5	24	弱い一致の程度
0.5以上	18	強い一致の程度

交渉の部



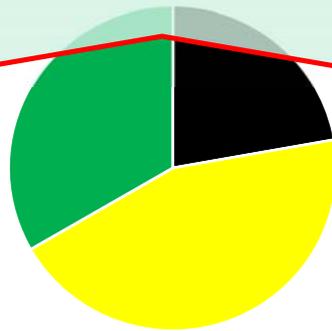
■ Less than 0.1 ■ 0.1 to 0.5 ■ More than 0.5

(2) よくある疑問：審査員の採点は、どこまで客観的か、主観的か？ 審査員3名の審査はどこまで信頼性があるか？

②交渉の場合

交渉審判3名の採点の一致の程度
 クロニバックの審査パネル数 54
 評価

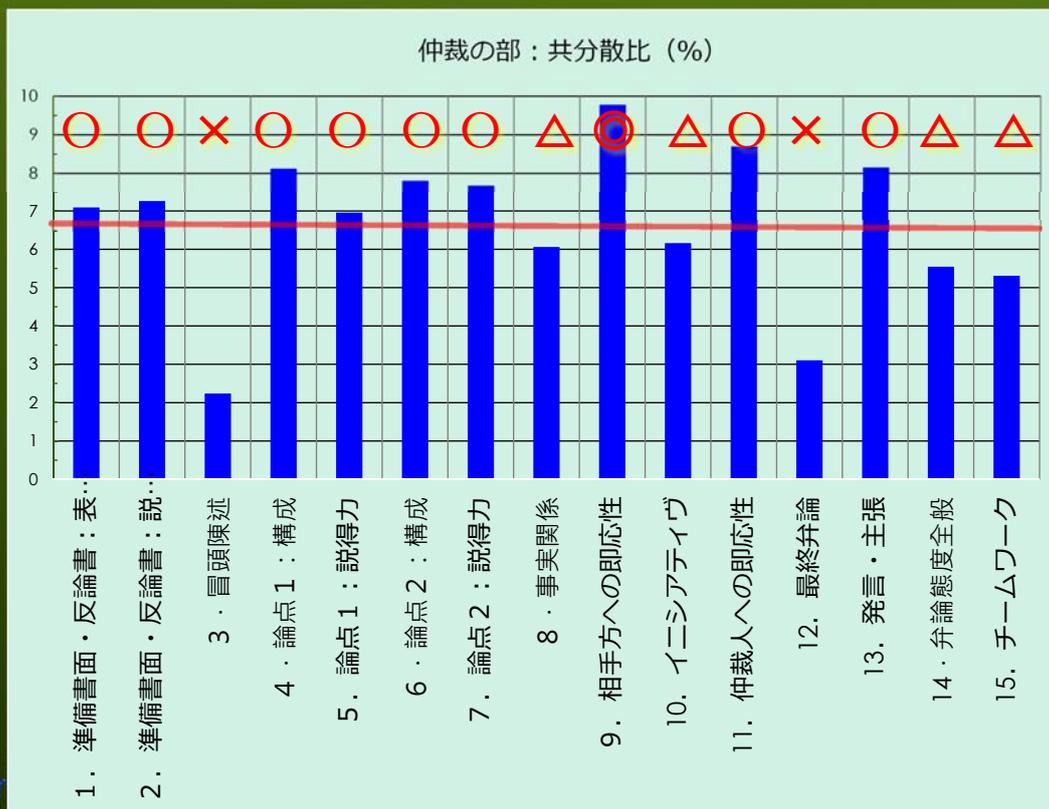
- ①交渉の採点において、審判3名の評価の間にブレはあまり見られない。
- ②各自（弁護士、裁判官、企業人）はそれぞれポリシーをもって採点しているので一致し過ぎないことも必要。



■ Less than 0.1 ■ 0.1 to 0.5 ■ More than 0.5

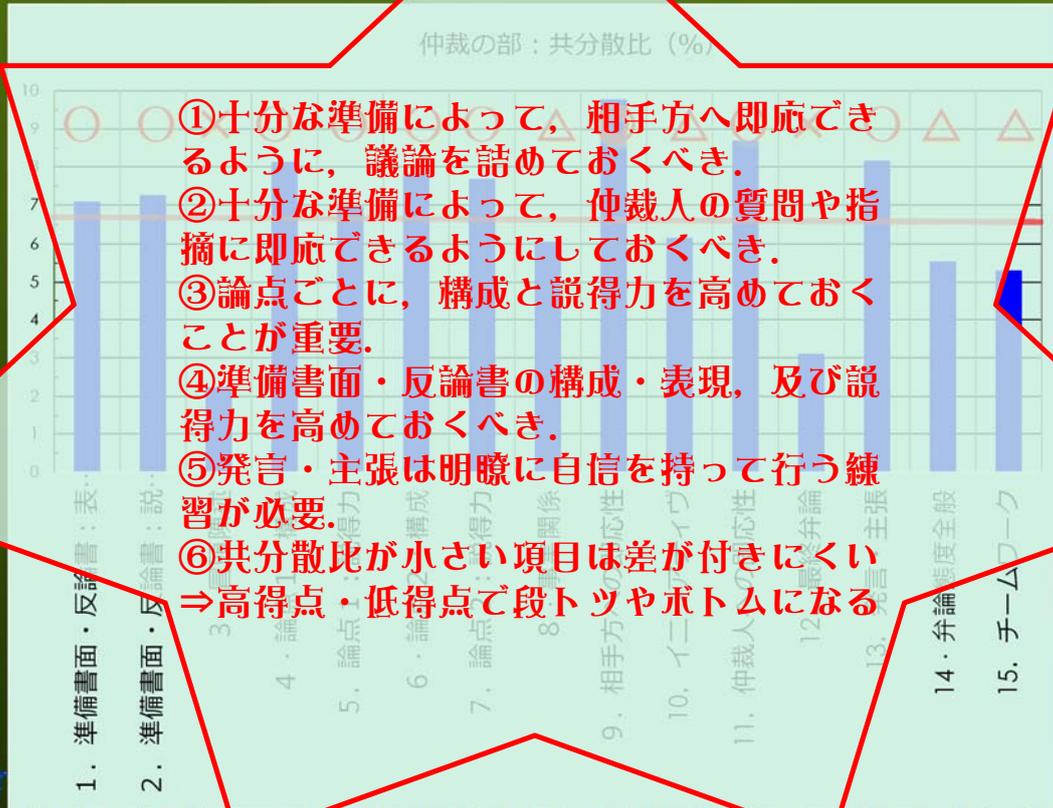
(3) よくある疑問：どの審査項目で差が付いたのか？

①仲裁の場合（仲裁合計点への影響度を共分散比で見る）



(3) よくある疑問：どの審査項目で差が付いたのか？

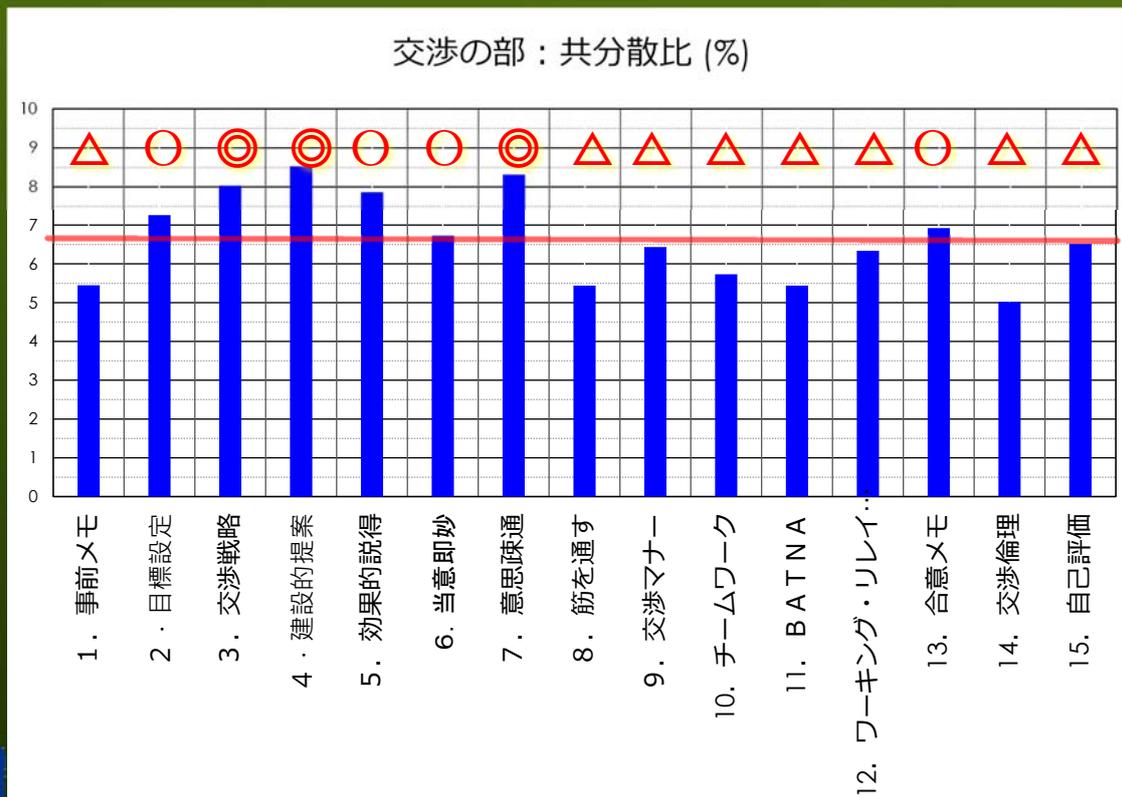
①仲裁の場合（仲裁合計点への影響度を共分散比で見る）



- ①十分な準備によって、相手方へ即応できるように、議論を詰めておくべき。
- ②十分な準備によって、仲裁人の質問や指摘に即応できるようにしておくべき。
- ③論点ごとに、構成と説得力を高めておくことが重要。
- ④準備書面・反論書の構成・表現、及び説得力を高めておくべき。
- ⑤発言・主張は明瞭に自信を持って行う練習が必要。
- ⑥共分散比が小さい項目は差が付きにくい
→高得点・低得点で段トツやボトムになる

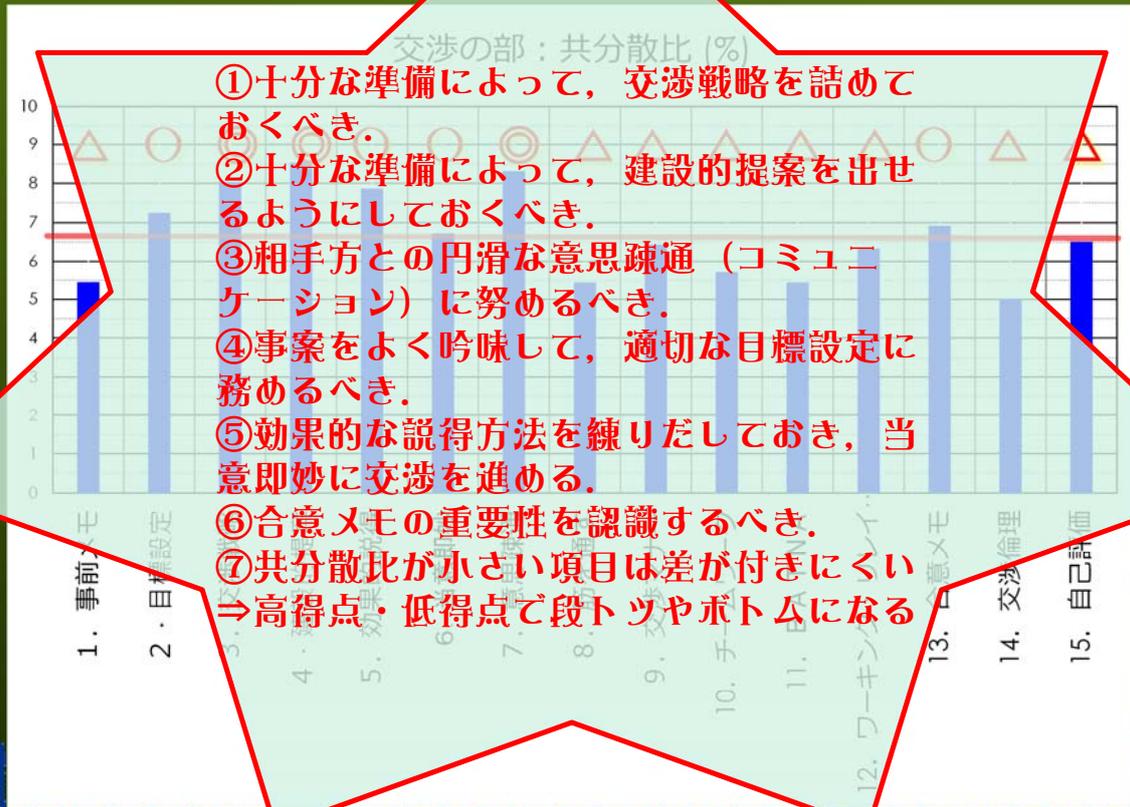
(3) よくある疑問：どの審査項目で差が付いたのか？

①交渉の場合（交渉合計点への影響度を共分散比で見る）



(3) よくある疑問：どの審査項目で差が付いたのか？

①交渉の場合（交渉合計点への影響度を共分散比で見る）



ご清聴ありがとうございました!

交渉コンペティションの審査評価法

2015年03月28日（土曜日）
東京大学大学院・法学政治学研究科
太田勝造 (OTA Shozo)

